

【同窓会だより 38 回生】

38 回生 同窓会報告

原田 幹男(38 回)

38 回生恒例の隔年同窓会も不動のものとなり、今回は富山県出身である棚田侯一さんに幹事役をお願いし、紅葉間近の山々を背景に高台にある見晴らしの良い北陸「雨晴温泉 磯はなび」に平成 21 年 10 月 21 日(木)午後 4 時に集合する。

総勢 16 名(うち、5 組の夫婦同伴)の参加。ご招待を申しあげました山田先生が、生憎と日時同じくして 31 回生(先生のクラス)の同窓会と重なり誠に残念でありました。また、いつも顔をみせて戴いている中で、腰痛・不整脈・高血圧等々の身体不調整で欠席を余儀なくされた方もあり、老いる身にこれからの一日一日が我が身との真剣勝負であり、健康管理の大切さを実感する昨今であります。

参加者一同は、例によって和気藹々のうちに、我が身の近況報告、同窓生の近況情報など参加された奥方共々とのお話に夜遅くまで盛り上がりました。翌日も快晴、立山から昇る素晴らしい日の出を拝しての起床。

一行はチャーターしたバスで世界遺産に指定されている五箇山菅沼合掌集落を見学。このあたりは都会の喧噪と違って長閑な山間在所で、周囲の山々は既に紅葉がはじまりかけた中、一息ついて暫しの散策を楽しむ。

そして昼食は、地元で採れた山菜や川魚の創作料理を戴きながら、平成 23 年の次回同窓会幹事役を長谷川さんをお願いを申し上げ、二年後の長野周辺で健康な再会を約束し散会しました。最後に棚田幹事に感謝を申し上げますと共に、言葉だけの「次回出席」ではなく、ご家族同伴を含め一人でも多くの同胞が一同に会せることを熱望して報告と致します。

【出席者名 池田正夫 夫妻、蛭原一志、片山寛夫妻、櫻莞爾、田代修 夫妻、長谷川光宏 夫妻、羽柴廣、人見佳男、棚田侯一、吉田(旧姓 浜)孝洋、原田幹男 夫妻(順不同・敬称略)】

以上

* 通巻 194 号 2010 年 1 月 10 日発行(H21 - No.4)より

